

## 小原田貯留管築造工事 工事概要

工事概要 (雨水貯留量 17,570m<sup>3</sup>)  
 雨水貯留管築造工 施工延長 L=1,398.37m  
 泥土圧式シールド工 仕上り内径φ4,000mm L=1,390.60m  
 特殊マンホール工 N=4 基

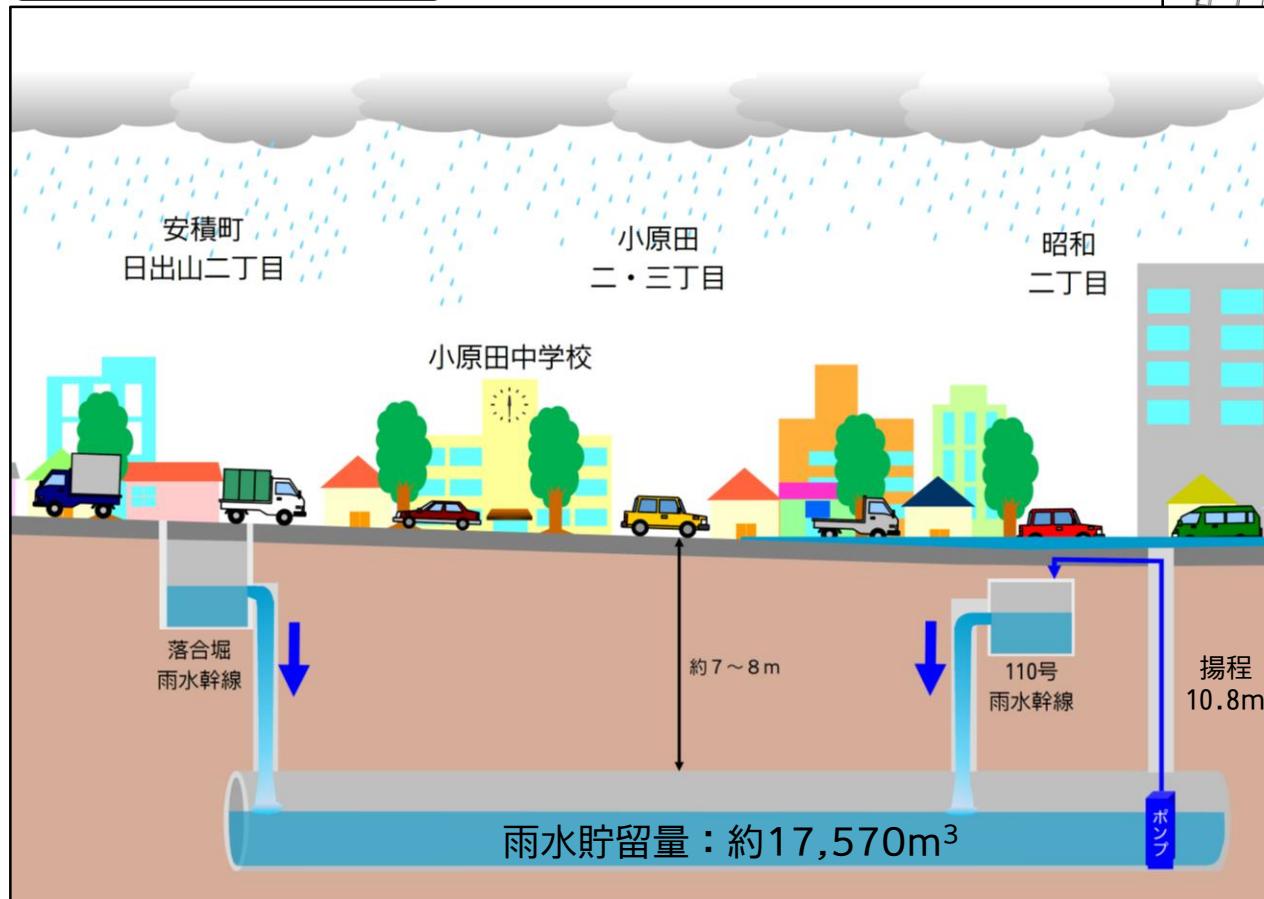
受注者：大林組・大越工業所・東洋設備工業特定建設工事共同企業体  
 請負額：4,107,385,700円 (第1回変更後)  
 工期：2019.10.9~2022.9.30

### 小原田貯留管の役割

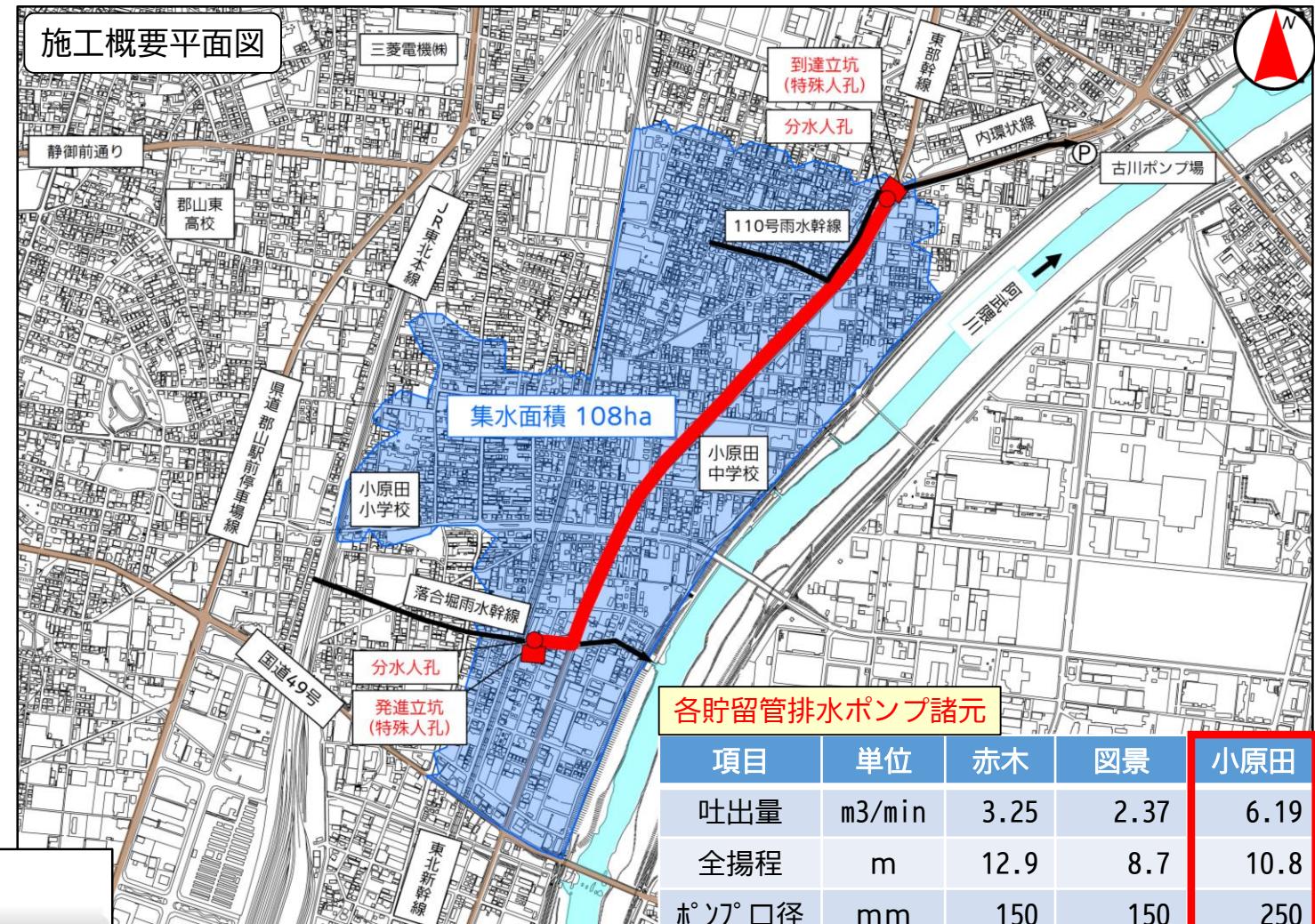
小原田地区及びその他周辺地区において、**ゲリラ豪雨等の局所的な豪雨**により発生している浸水被害に対し、雨水を一時的に貯留し浸水被害の軽減を図ります。

平成22年7月6日実績降雨を基に貯留量を設定  
**10分あたり23mm (時間あたり58mm)**

### 小原田貯留管イメージ図



### 施工概要平面図



各貯留管排水ポンプ諸元

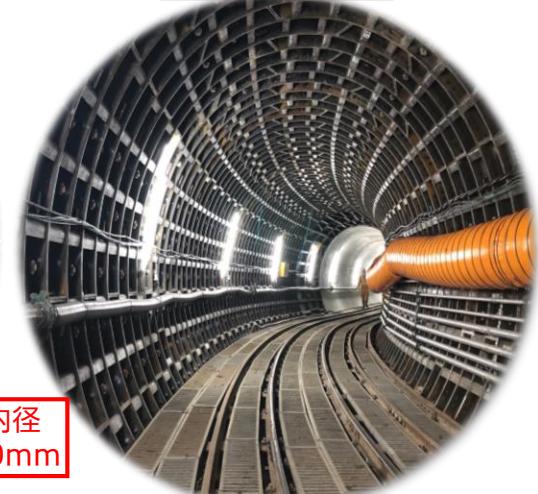
| 項目    | 単位                  | 赤木   | 図景   | 小原田  |
|-------|---------------------|------|------|------|
| 吐出量   | m <sup>3</sup> /min | 3.25 | 2.37 | 6.19 |
| 全揚程   | m                   | 12.9 | 8.7  | 10.8 |
| ポンプ口径 | mm                  | 150  | 150  | 250  |
| 出力    | kw                  | 15   | 7.5  | 18.5 |

### シールド掘進機



仕上り内径  
φ 4,000mm

### 雨水貯留管内部 (一次覆工状況)



吐出量 6.19m<sup>3</sup>/分 ⇒ 371.4m<sup>3</sup>/1時間 ⇒ 8,913.6m<sup>3</sup>/24h\* × 2基 ⇒ **17,827.2m<sup>3</sup>/日**

N=2基 (口径φ 250mm 出力18.5kW)

※次の豪雨に備えるため、24時間で排水